



地球にいいこと。

RELEX NEWS RELEASE

コアレックス信栄株式会社
2024年3月22日（金）

校内で回収した紙製容器包装がトイレットペーパーに！ トキワ松学園中学校高等学校のリサイクル活動に成果

コアレックス信栄株式会社（本社：静岡県富士市）は、株式会社ロッテ（本社：東京都新宿区、以下ロッテ）と共に2023年9月よりトキワ松学園中学校高等学校（所在地：東京都目黒区）生徒会役員とHR代表委員（以下 代表会議）と協力し、紙製容器包装のリサイクル活動を実施しました。同校内にリサイクル回収箱を設置し、紙製容器のパッケージを回収。コアレックス信栄株式会社を持つ古紙再生の専門技術によって、同校で回収された紙製容器包装が本取り組み(スマイルエコチャレンジ)のリターンとして特別デザインの再生トイレットペーパーに生まれ変わりました。

代表会議が主導することで、リサイクル意識と主体性を高めるこの取り組みは普段何気なく“燃えるごみ”として捨ててしまっていた身近な資源に目を向け、関心を持っていただく活動となりましたので、その模様をご紹介します。



デザインはイメージです。

贈呈された「スマイルエコチャレンジ」特別デザインの再生トイレットペーパーを手にするトキワ松学園生徒会役員とHR代表委員（以下、代表会議）の皆さま



紙製容器包装
回収量100.8kg



⇒ 20巻きのトイレットペーパーに！
※回収量に対するリターンは本取り組み向けのレートです

代表会議の皆さまが
当初想定していた倍以上の紙製容器包装を
回収できました！

【生徒の皆さまからのコメント（アンケートより抜粋）】

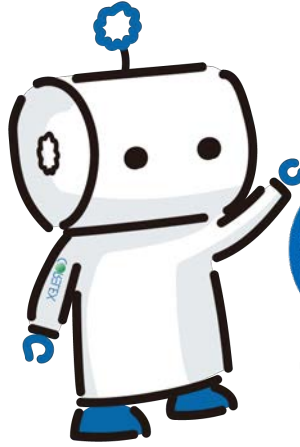
「ごみの対処を変えるだけで、いいが増えるという点に、これからはしていこうと思いました」

「意外とリサイクルできる箱はたくさんあって驚きました。せっかく立派な箱なのにもったいないと思っていたので、回収の機会があつてうれしいです」

「きちんとリサイクルできるものはリサイクルしようという意識ができた」

「お菓子を食べるたびに『この箱は資源ごみとして出せるのか』と見るようになり、なるべく分別して捨てるよう意識するようになった」

「意識が変わった」との回答が多く寄せられました！



地球にいいこと。

RELEX NEWS RELEASE

【本取り組みを振り返って】

①キックオフにてロッテから代表会議の皆さまと課題を共有



ロッテより代表会議の皆さまへ、紙製容器包装の回収が他の資源ごみに比べ進んでいない世の中の現状をガイダンス。代表会議の皆さまから全校にて回収推進を図る旨をアナウンス。

②文化祭などの機会を通じて校外へも紙製容器包装を回収の取り組みと重要性をアピール（代表会議の皆さまが回収箱を自作・増設。画像：左、中）

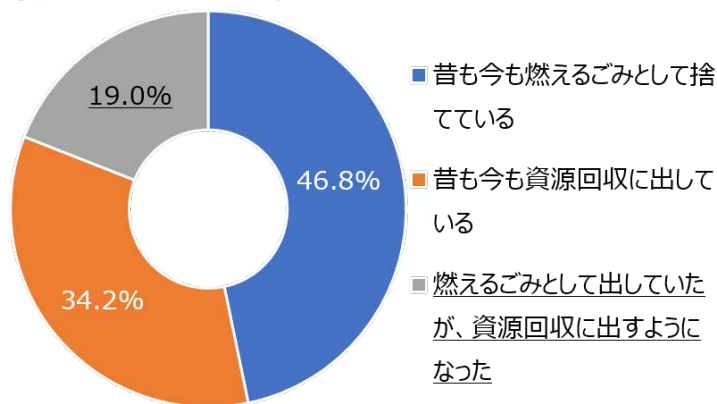


③コアレックス信栄株式会社とロッテより、紙製容器包装回収量に応じたスマイルエコチャレンジデザインのトイレトペーパーを贈呈
取り組み後の意識調査では、19%の生徒の行動に変化が現れました。



【生徒への事後アンケート：取り組み前後行動変化】

学校での紙箱回収の取り組みを通して、
家庭での行動に変化はありましたか？



N=231

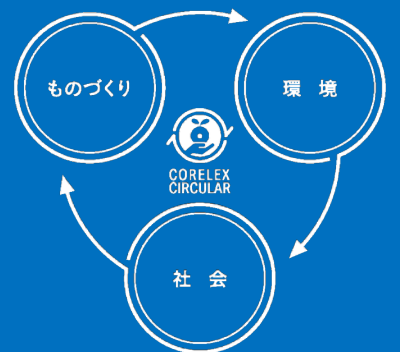
【ロッテ担当者コメント】

ロッテ中央研究所
パッケージ研究課・藤原普夫

代表会議の皆さまを中心に主体的に取り組んでいただいたことで、想定以上の回収ができました。今回の取り組みで、資源循環の重要性について、何か少しでも気づきを得てもらえたらうれしいです。今後も様々な場面でリサイクル意識を持っていただけることを願っています。

コアレックスについて

これまでも当社では、「紙は紙から」。この信念のもと、技術開発によりリサイクル可能な紙の範囲を広げてきました。異物の付いた物から加工された物まで、日常生活で使うほとんどの紙をまとめて回収、蓄積されたノウハウと独自発想の技術により、他のメーカーでリサイクル不可能とされている「雑がみ」も、最高品質の紙製品として再生します。再生紙メーカーとして環境に優しい『日本の暮ら紙』づくりに貢献しています。



コアレックス サステナビリティブック：https://corelex.jp/strengths/images/20230201_sdgs.pdf

【この件に関するお問い合わせ先】

■お問い合わせ先

コアレックス信栄株式会社 静岡営業所総合企画室 担当：宇佐美

●〒421-3306 静岡県富士市中之郷575-1 ●E-mail：t-usami@b-web.co.jp

●TEL：0545-38-9475 ●FAX：0545-38-9476